

# 船橋市社会科セミナー通信 第142号

## 7.13土 報告

勉強会会場はいつもの「プラウド・ター-船橋」。

今回の出席者は、会場担当で事務局長の大野 肇先生(行徳高校へ異動)と藤木信弘先生(異動で松戸市高木第二小へ異動)・中谷佳子先生(飯山満小)・円城寺淳先生(小栗原小)・野宮典子先生(若松中)・佐藤一巳先生(前原小)と会長の池田(異動:八木が谷中と宮本中で初任者指導)の**合計8名**。今回は残念ながら目標の10名には達することができませんでした。

## 1本目:単元のまとめに新聞づくりをさせてみて(その2)

中谷佳子先生(飯山満小)

前回、中谷先生には、社会科学習の単元のまとめに「新聞づくり」をやっているという報告を受けました。今回はその続編として、「事件や事故から人々のくらしを守る」の単元でも新聞づくりをさせたことを報告してもらいました。こうして継続して研究されそれを報告していただけることは大変ありがたいことです。

[前回の前文]

中谷先生は今年4年生の担任となりました。社会科の学習を進めるに当たって、(以前から「社会科の単元のまとめにふさわしい新聞づくりのありかたはどうか」と思っていたことや、新聞コンクールでたくさんの受賞をするなどの新聞づくり指導実績のある新井誠先生との出会いや、4年生国語の単元に「学級新聞を作ろう」があることなどがあって、)単元のまとめに新聞づくりを設定して研究してみたいと考え、2つの単元(今回を含めると3単元)で実践してみました。実践してみて、これは社会科学習では今年1年間続けたいと思ったそうです。

池田は、今まで「新聞づくり」の学習を幾つも見てきましたが、正直に言って、これが社会科学習の成果なのかな、単元のまとめとしてふさわしいのかと疑われるものがほとんどだったので、新聞学習には懐疑的でしたが、中谷先生の指導は、私のそんなイメージを、良い意味で見事に裏切ってくれました。その意味でこの報告は大変嬉しいものでした。次の単元のまとめでも新聞づくりをする予定をしており、児童は導入段階から今度はどういう新聞を作ろうかとの意欲と、調べ学習の充実が見られるようになったようです。すばらしいことです。

### 1 単元のまとめ学習に新聞づくりを設定した理由

- (1) 社会科副読本「わたしたちの船橋」編集委員をしたときに、単元のまとめ学習にふさわしい新聞づくりとはどうあればいいか、ということが気になっていた。
- (2) 3. 11後の石巻日々新聞の「壁新聞」に見られるように、表現方法として、「(壁)新聞」は大きな力があるので、新聞づくりを体験させて、表現力を向上させたい
- (3) 「新聞」を取っている家庭が担任学級の半数ほどになってしまった現状を見るに、社会の有きな情報源である「新聞」に興味・関心を持たせたい。
- (4) 新聞コンクールでたくさんの受賞をするなどの新聞づくり指導実績のある新井誠先生との出会いがあり、新聞づくり指導に多くの示唆が頂けるのではないかと、その意味で今年は新聞づくり指導のチャンスではないか。
- (5) 4年生国語の単元に「学級新聞を作ろう」があるので、それとも関連付けられる。

### 2 これまでの手立て

- (1) 新井先生に新聞づくり指導のことを相談して、「新聞社の出前授業」があることを知った。
- (2) 朝日新聞社に「出前授業」をお願い(4月) ↓下記は記者さんが話したこと

<新聞ができるまで>

①新聞に載せる記事の内容を決める(どんなものを記事にするか)

②取材をする

1)取材をする前には、下調べを徹底的に行い、質問をたくさん考えておく。

2)取材に持って行く物=取材ノート、筆記用具、デジカメ、ボイスレコーダー

3)取材の手順

a.取材の前にアポイントを取る

b.徹底的に下調べし質問を考える

c.取材として、インタビューや見学、写真撮影などをする  
取材では必ずメモをとる

③記事を書く

1) 4つのポイント

- いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように、を書く
- 文の最後の調子をそろえる
- 具体的な内容を書く

スカイツリーは高い→634mの高さ。この前→何月何日

- 正しい言葉遣いで書く

2) 「おもしろいな、ふしぎだな、すごい」を伝えよう

3) 写真・絵・表・グラフなどを使う。

④レイアウトをする

⑤印刷して読者に配る

(3) 個人で新聞づくり

「ごみの処理と利用」の単元のまとめとして、個人で「新聞づくり」をさせた。

児童たちには4月の出前授業を生かそうという気持が強く表れ、出前授業をお願いしたことは大きなプラスだった。

また、できあがった新聞を新井先生に見ていただいて講評をいただいたことで、俄然やる気と自信を得た児童が何名も出たことも今後の活動に大きなプラスだった。

(4) グループで新聞づくり

「火事からくらしを守る」の単元のまとめとして、今度は6人グループで「新聞づくり」をさせた。

「グループ新聞づくり」のさせ方は、1グループに対して方眼模造紙半分の大きさの用紙を2枚用意して、1枚は台紙とし、もう1枚は記事を書く紙として見出しや記事の大きさに合わせて分割して切らせ、分割した紙に各自の分担分を記載していく方法をとった。これが良かった。児童はまずグループ編集会議を開いて、1枚の紙にレイアウトを考え、その後時折相談しながら分担分の記事を書き、全員分ができたらまたグループ編集会議を開いて誤字脱字や記事の良し悪しや過不足などを総合的に考えて記事の校正・修正を図り、よりよいものを作ろうとした。その間、個人新聞の時に新井先生に褒めていただいた児童などがリーダーとして生き生きとグループ学習を引っ張って行く姿が見られた。

### 3 これまでの反省と課題

(1) 新聞づくりの有効性

- ①記事を書いたり編集会議を通して、学んだことを整理する力が育つ。
- ②見出しをつける→端的にまとめる力
- ③ノートとは違い単なる写しではなく、他者を意識して書く→理解してないと書けない
- ④紙面を集めて編集会議を開くことで、他者の記事を理解し校正・修正し、学び合いが生まれる
- ⑤新聞ができあがる喜び
- ⑥後に記事を書くために調べ学習にも意欲と正確に取材する力が生まれる。

(2) 課題

- ①できあがった新聞に全員で「大賞」「デザイン賞」「記事賞」を選ばせたが、良かったのか？
- ②「火事からくらしを守る」の単元のまとめとして行ったのに、消防署見学の直後に学習問題を振り返らずに新聞づくりに入ったために、どの新聞も「消防署見学新聞」のようになってしまった。
- ③グループの人数は何人が適切か？

<以上が、前回の報告について>

### ★4 今回の報告

(1) 単元名 事件や事故からくらしを守る (警察)

(2) 単元8時間扱い (新聞づくりは2時間)

(3) 指導過程

① **つかむ**… 事件や事故の写真や話を聞いて、事件や事故のときにどのような人が助けてくれるか話し合わせた。

② **立てる**… 学習問題：事件や事故からくらしを守るために、誰が、どのようなことをしているのだろう。

調べる観点を立てる：1) 警察の仕事 2) スクールガードやPTAの活動 3) 私たちを守る道具や施設

③ **調べる**… 4人班で調べ学習、資料は主に「副読本」と「教科書」、PTA作成の「はさマップ」は地域の防犯・危険箇所情報としてかなり役だった (このマップを授業で使用したことはPTAの方からも好評であった)。

※本単元では警察署などの見学活動を入れることができなかったのが残念。

④ **確かめる**… 学級全体で、学習問題の答えを確かめる学習をもった。

⑤ **まとめる…** 今回は、＜個人新聞＞づくり

- 1) 指導のポイント：新聞作成にあたって常に学習問題を意識させるために、「新聞を読んだら、学習問題の答えが分かるような新聞をつくろう」と強調して指導した。
  - 2) 新聞作成の結果：a) まとめが苦手な児童や表現が苦手な児童も含めてすべての児童が紙面の8割以上を埋めることができた。b) 中には、学習問題の答えよりも自分の興味関心を持ったことを中心に新聞を作成した児童が出た（→これは今後の課題）c) 新聞作成を続けていると、文章表現力が向上するように感じた。
- (4) 次の単元（くらしと水道）についての計画
- ① 次の単元では、グループで新聞づくりをさせたい（1人が1コーナー担当させ、編集会議で学び合いをさせたい）
  - ② グループ新聞作成後は、発表会を持ち、第1面になぜその記事をもってきたか、などのプレゼンをさせたい。

**★池田の感想**

- (1) 新聞づくりをした児童の中に、「私たちのことを知らないたくさんの人達が、私たちを守ってくれるのが嬉しい」という感想を寄せた児童がいたそうです。これはすごい！これこそが、「消防」「警察」「水道」などで子どもたちにつかませたいことの本質（→中心概念）にせまること（社会のしくみ）を直感的に言い表せているではないですか！
- (2) 毎単元、新聞づくりでまとめる学習をつづけることで、社会を新聞記者の眼で見る子どもがそだつのかなと期待しています。
- (3) 「個人新聞づくり」と「グループ新聞づくり」を単元ごとに交互にさせることで、個人で新聞が作れる子どもたちが集まってグループ新聞を作成することになり、より質の高い「学び合い」が組織しやすいのではないかな
- (4) 中谷先生はすばらしい！  
中谷先生は今回も前回は、「～の子が……の新聞をつくったのですよ」と、何枚もの新聞を大変具体的に大変嬉しそうに報告してくれました。普段から児童の様子をしっかりとしかも温かい眼でみていて、今回の新聞も1枚1枚つぶさに丁寧に読み込んだことが伺え、大変嬉しく思いました。すばらしい先生だなと思いました。

**2本目：単元の中心概念と構造化**

佐藤一巳先生（前原小）

佐藤先生はこの夏の総合教育センターの「社会科研修講座」の講師を頼まれたそうで、今回は、そのときに講演する内容の一部を本セミナーで報告してくれましたが、紙面の関係で、割愛させていただきます。佐藤先生には申し訳ありません。  
報告で特に興味深かったのは、小学校6年生の歴史教科書（東京書籍）の資料と中学校歴史的分野の教科書（教育出版）の資料が7・8割方？同じということを知れば、教え方が変わるのではないかということです。

**3本目：知っ得ニュース 11**

池田義光

**[1] 参議院議員選挙について**

**2 衆議院と参議院の名前の由来は？**

貴族院に対して、一般大衆の代表が議論する所 ⇒ 衆議院

衆議院の議論に参画して議論する所（衆議院の議論をチェックする、良識の府）⇒ 参議院

**3 衆議院と参議院の違いは？**

	衆議院	参議院
定数	480人	242人
任期	4年	6年
解散	あり	なし
被選挙権	25歳以上	30歳以上
選挙名	総選挙	通常選挙
1回の選挙で	全員(480人)改選	半数(121人)改選

**4 参議院選挙のやり方は？（2種類）**

(1) 選挙区選挙は、73人、都道府県単位、個人に投票

(2) 比例代表選挙は、48人、全国一区、政党に投票

(3) なぜ2種類あるのか？

① 「選挙区選挙」だけだと「死に票」が多く出やすい

②「比例代表選挙」だけだと、小党分立になりやすい。全国一区の課題

## 5 今回の参议院選挙から変わることは？（選挙権と選挙運動の面）

- (1) 選挙権の面で→成年後見者が付いている人にも選挙権が認められる
- (2) 選挙運動の面で→インターネットによる選挙運動が解禁

## 6 今回の参议院選挙結果の注目ポイントは？

- (1) 与党（自民党+公明党）が過半数に達するか⇒ねじれ国会が解消するか？
- (2) 改憲勢力（自民党+日本維新の会など）が3分の2以上に達するか？⇒国会の改憲発議？

## [2] TICAD5について

1 TICAD5（ティカドファイブ）とは？ ⇒ 第5回アフリカ開発会議

2 参加国数は？ ⇒ アフリカ54か国のうち51か国が参加

3 開催目的は？ ⇒ 日本とアフリカ各国が協力して、アフリカの貧困を克服し経済成長を図る

## 4 なぜTICAD5が日本で開かれたのか？

過去4回とも日本が会場で日本が主催（日本の戦略的なねらい）

## 5 会議の結果、どのようなことが決まったか？

「横浜宣言」のポイント

- ① アフリカの成長を加速させ、貧困を削減する
- ② 民間部門は成長の原動力として必要不可欠である
- ③ 民間投資を促すため、各国は、法制度や規制の枠組みを改善する
- ④ インフラ（社会基盤）整備では、エネルギー、運輸、水、の3分野を重点化する
- ⑤ 農業の成長、食料の増産へ先進的な技術を導入する
- ⑥ テロや国際組織犯罪などへの取り組みを強化する

## 6 日本の戦略的なねらいとは？

(1) アフリカ大陸の魅力

- ① 豊かな資源（金・ダイヤモンド・石油・レアメタルなど）
- ② 安くて豊富な労働力（人口は約10億人）
- ③ 将来は豊かな市場になるだろう
- ④ 数多くの国（54か国）の政治力

(2) 日本から見た課題

- ① 中国の援助や投資が突出している（日本の約2倍）
- ② 治安の悪さ

(3) 日本の方針

- ① 援助から投資への転換
- ② 政府主導から政府と民間企業の連携に軸足を移す
- ③ 雇用や人材育成など、支援の質をアピール

(4) 資源目的以外の日本企業のアフリカ進出

- ① [エジプト・ナイジェリア] ○日立製作所→小型ガス火力発電装置を受注
- ② [ナイジェリア] ○味の素→うまみ調味料の販売
- ③ [ケニア] ○豊田通商→地熱発電所を建設  
○日清食品→即席麺を販売  
○東洋建設→港湾施設の建設を受注
- ④ [ガーナ] ○双日→海水淡水化事業
- ⑤ [アンゴラ] ○丸紅→バイオ燃料工場建設
- ⑥ [南アフリカ] ○トヨタ→自動車部品の物流拠点の拡張を検討  
○住友商事→風力発電に参入

**8月セミナー予定 8月31日(土)**

＜勉強会＞は、プラウドタワー船橋1階入口 **3時**集合

**今年も皆川征夫先生の講演が実現しました！**



プラウドタワー（船橋北口）

※終了後 船橋駅周辺で **6:30頃**から＜懇親会＞

⇒出欠席をできれば **2週間前までに池田宛てにお知らせください**